

ステータス:	終了	開始日:	2015/12/07
優先度:	通常	期日:	
担当者:		進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
<div><ul style="list-style-type: none">Jenkins用ではなく、自分のVM環境での動作確認ではあるが、trunkのソースをビルドしようとしたらautogenで失敗するlibtoolはインストール済だが、libtoolizeがインストールされていないことが原因に思えるJenkins用のVM環境を構築後に改めて確認する</div> <div><pre>\$ svn co http://svn.openrtm.org/OpenRTM-aist/trunk/OpenRTM-aist \$ cd OpenRTM-aist \$./autogen.sh (./build/autogen でも同じ結果) Setting up environment to generate configure script. ----- Searching Autotools ----- commands were not found: libtool15 libtool-1.5 libtool \$ sudo apt-get install libtool libtool はすでに最新版です。 \$ cat /etc/lsb-release DISTRIB_ID=Ubuntu DISTRIB_RELEASE=15.10 DISTRIB_CODENAME=wily</pre></div>			

履歴

#1 - 2015/12/07 19:35 - n-ando

libtool-binインストールしてます？
あと、libboost-filesystem-devもお忘れなく。
僕の手元では特問題なくリポジトリのソースからのコンパイルができました。

#2 - 2015/12/08 11:11 - n.kawauchi

- 進捗率 を 0 から 100 に変更

libtool-bin インストールしておりませんでした。お騒がせ致しました。
インストールすることで、無事にtrunkソースのビルドができました。
libboost-filesystem-devはインストールされておりました。

[#3382](#) のチケットに関連してですが、trunkソースからのmake, make installで構築した環境でOpenRTPによりコンポーネントを作成してみたところ、ポート設定時のデータ型は問題なく一覧として見えることを確認しました。(/usr/include/openrtm-1.1/rtm/idl)

#3 - 2016/08/09 15:41 - n-ando

- ステータス を 新規 から 終了 に変更

1.1.2をリリースしたので終了としました。ありがとうございました。